

# 南小学校だより

～明日も行きたくなる学校～



波佐見町立南小学校  
学校だより No.4  
令和6年5月17日(金)  
文責：校長 馬場 利浩

日曜日はいよいよ運動会です。2週間という短期間でしたが、それでも、先生方と子どもたちで時間を工夫しながら練習を重ね、なんとか明後日を迎えられそうです。今回は、運動会に関わる詩を二つ紹介します。

## 運動会

ある小学生

いよいよ近づく運動会

ぼくは、走るのが大の苦手

楽しいような・・・うれしいような・・・

不安と期待でいっぱいだ

いつか、みんなを追いこして走ってみたい



## 百点満点のビリ (抜粋)

相田みつを

ただひたすら走るだけ いのちいっぱい走るだけ

いのちいっぱい走ることが 尊いのだ

いのちいっぱい走ることでは みんな百点満点なのだ

一着二着の順位はあるけど 一着も百点満点 二着も百点満点

そしてー 百点満点のビリなのだ

一人ひとり人間には それぞれに能力の差はあるけれど

いのちの尊さは同じだからです どんな人のいのちでも

平等に百点満点に 尊いからです



運動会は多くの子にとっては楽しみな行事なのでしょうが、運動の苦手な子にとっては、決してそうとはなりえないのかもしれないと思います。もしかしたら、不安と憂鬱を抱えながら日曜日までの二日間を過ごす子どももいるのではないかとさえ思います。

今夜、そして明日の夜、親子で運動会について話題になることと思います。

その時に、親として家族として我が子にどのような言葉を贈り、どのような願いを伝えるのか、そのことで、日曜日とそれ以降の我が子の姿が変わってくることと思います。

子どもたちの成長はもちろん、親子の関係も一段と深まる。

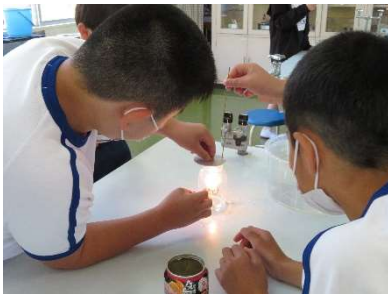
そんな運動会になればと願っています。



## =運動会へ向けて=

運動会といえば、短距離走やリレー、表現など運動場の様子が思い浮かばれることと思います。実は、それらを実施するために絶対的に必要なのが、運動会の係活動です。上の写真は、その打合せや練習の様子です。選手を集める召集誘導、スタートをさせる出発、コーンなどの設置をする準備、競技の様子を伝える放送、着順を判断する決勝、得点を集計する記録、子どもたちをまとめる応援指導、けがした人をお世話する救護で、5・6年生が担っています。子どもたちは、これらの係活動をとおして、物事を実行するためには、それを支える役割が必要であること、そして、自分の仕事が人のためになること、さらには活動をスムーズに進めるためには協力が必要であることなどを学んでいます。運動会の当日は、走り踊る子どもたちの姿と共に、それぞれの役割をとおして運動会を支えている高学年の姿も、どうぞ御覧ください。

## =直接体験=



左は、6年生の理科の授業の様子です。「ものを燃やす働きのある気体」の学習で、集気瓶の中にそれぞれ、二酸化炭素、窒素、酸素を満たし、その中に火の付いたろうそくを入れて炎の変化を観察します。前者二つの瓶では、炎はすぐに消えてしまうのですが、酸素を充填した瓶の中では、ろうそくの炎は見たことのないようなまぶしいほどの輝きを放ちながら燃焼します。理科室

には、子どもたちの歓声が広がっていました。

右は、2年生の授業の様子です。生活科の学習で、ミニトマトを栽培する準備をしています。これから夏にかけて水やりなどのお世話をしながら、自分に任された大切な命を育てていきます。



今は、インターネットを用いれば、指先一つで様々な情報や間接体験がいくらでも得られる時代です。しかし、いつの時代にも、子どもの健全な成長に直接的な体験活動は欠かせないはず。輝き、匂い、暑さ、重さ、楽しさ、辛さ、命の誕生と終焉…。ICT が発達し、教育活動に浸透してきた今こそ、その重要性を見つめなおしたいと考えています。

※いじめや不登校、その他お子様の教育に関わる相談は下の番号にご相談ください。

【波佐見町教育相談電話】 0956-85-3899

※小学校には、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーが来校します。子育てに関するご相談などお気軽にご連絡ください。

【窓口：南小学校】 0956-85-2414